

受付番号：2016-1-519

課題名：卵巣明細胞腺癌の原因遺伝子を探る

1. 研究の対象

2001年4月～2015年1月 当院で卵巣癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

卵巣癌は比較的化学療法に感受性の高い疾患とされています。しかし卵巣明細胞腺癌は卵巣癌の中で頻度の高い漿液性腺癌と比較すると必ずしも化学療法に対する効果が同様とは言えません。また、卵巣明細胞腺癌は欧米では上皮性卵巣腫瘍の6%程度ですが、本邦では20%程度と多くみられます。卵巣明細胞腺癌は子宮内膜症を母地に発生することが古くから考えられており、子宮内膜症が増加している本邦において、今後も増加が見込まれる疾患です。この病気への罹りやすさや治療法を評価するための新たな指標を得ることを目的とします。

2001年4月から2015年1月まで、当院で卵巣癌の診断で手術を行った患者様を対象とします。手術で得られた組織からDNAを抽出し、匿名化を行った後に次世代遺伝子解析機や、マイクロアレイ（ゲノム全体で頻繁にみられる塩基の変異を探る装置）で解析を行い、癌部と周辺正常部との違いを観察すること、東北メディカルメガバンク機構にストックされている1000人の健常人のゲノムと比較することで原因遺伝子の検索を行います。

研究期間：2015年2月～ 2019年3月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号 等

試料：手術で摘出した組織 等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし。

5. 研究組織

該当なし。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 Tel: 022-717-7251
東北大学医学部 産科学婦人科学教室 講師 徳永 英樹
大学院生 渋谷 祐介

研究責任者：

東北大学医学部 産科学婦人科学教室 教授 八重樫 伸生

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開

室受付窓口に提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学情報公開室】

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の2(1)>

- ① 研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ② 研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③ 法令に違反することとなる場合